

大平洋金属株式会社  
2019年3月期 期末決算説明会

2019年5月21日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部（IR担当）TEL:03-3201-6681



1. 2019年3月期 決算実績	
（1）決算実績	4
（2）国別販売実績	5
（3）連結経常損益分析	6
2. 前中期経営計画「PAMCO-30」の振り返り	
（1）「PAMCO-30」の位置づけ	8
（2）重点施策と活動結果	9
（3）3ヵ年計画対実績比較（連結）	10
3. 新中期経営計画「PAMCO-2021」	
（1）「PAMCO-2021」の位置づけ	12
（2）当社を取り巻く環境	13
（3）LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	14
（4）前提となるステンレス生産・ニッケル需給見通し	15
（5）基本方針と重点施策	16
（6）組織改編	18
（7）年度別指標	19
（8）国別販売見通し	20
（9）連結経常損益分析	21
（10）投資計画	22
（11）鉱石調達計画	23
（12）資本政策	24
（13）ESGへの取り組み	25
（ご参考）中期経営計画 数値データ	26

---

# 1. 2019年3月期 決算実績

---



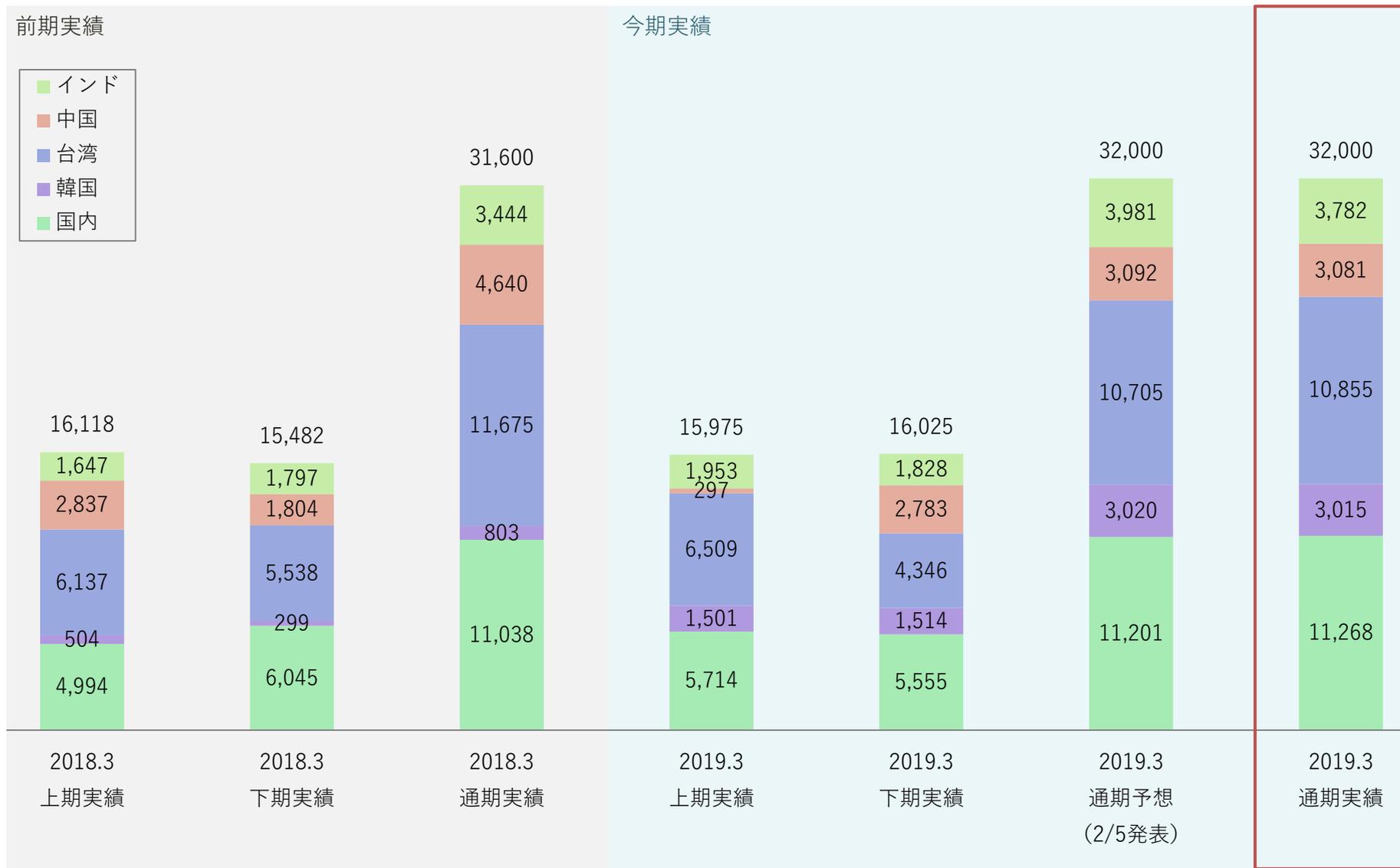
## (1) 決算実績

	2018.3 実績		2019.3 予想 (2/5発表)		2019.3 実績		対 前期比 (%)	対 2/5発表 予想比 (%)	トピックス
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)			
売上高	41,210	—	48,327	—	49,062	—	19.1	1.5	<b>■売上高・損益</b> LMEニッケル価格上昇 及びトータルコストの 削減を推進したことにより 増収増益
営業利益	△3,239	△7.9	△1,588	△3.3	176	0.4	—	—	
経常利益	△203	△0.5	1,863	3.9	3,451	7.0	—	85.2	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△810	△2.0	2,091	4.3	3,693	7.5	—	76.6	
(投資額)	259	—	—	—	276	—	6.6	—	
(減価償却費)	312	—	—	—	307	—	△1.3	—	

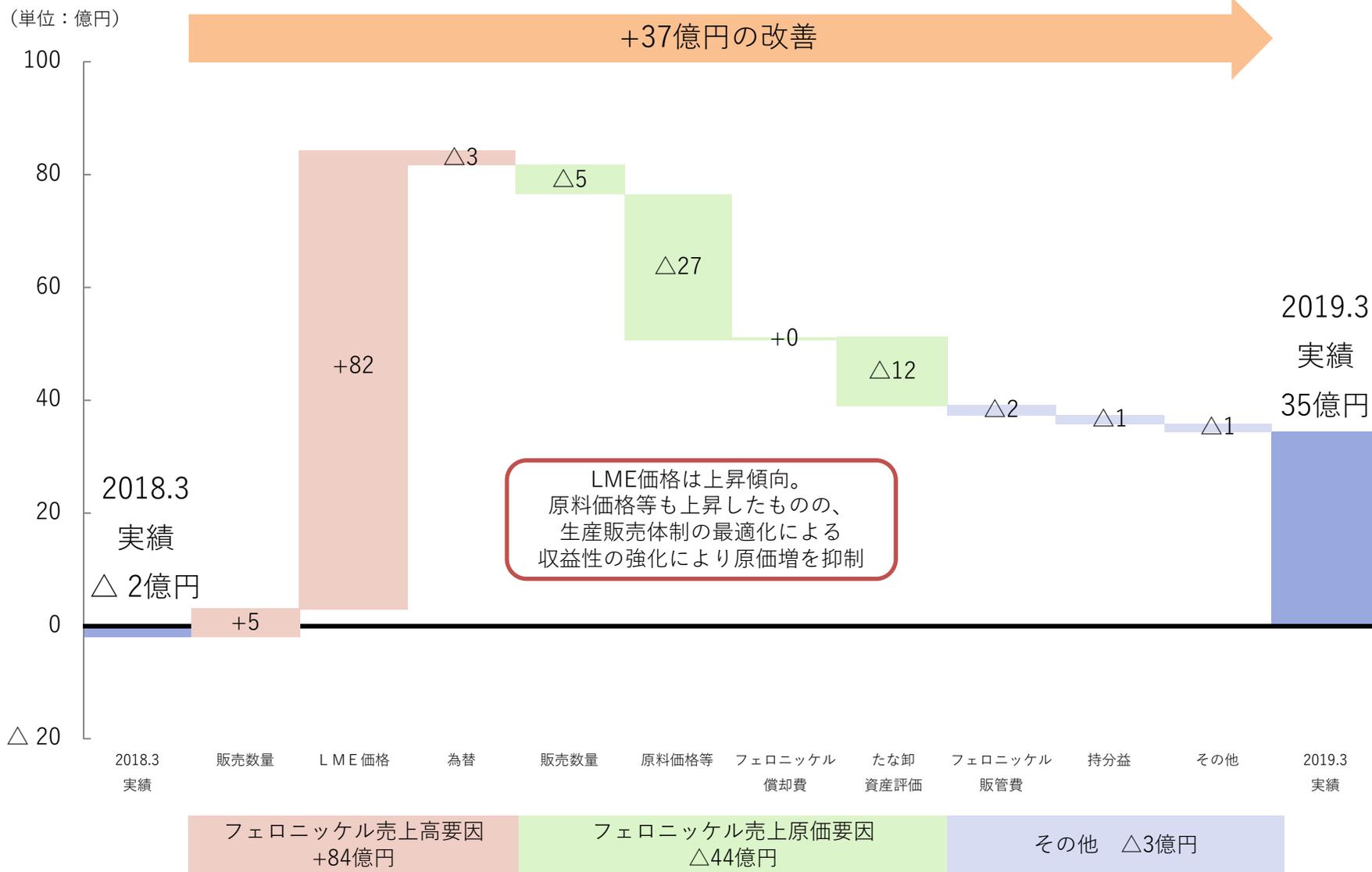
	2018.3 実績	2019.3 予想 (2/5発表)	2019.3 実績	対 前期比 (%)	対 2/5発表 予想比 (%)	トピックス
生産数量 (Niト)	29,902	33,250	33,506	12.1	0.8	<b>■生産数量・販売数量</b> 慎重な生産・販売体制 を継続
販売数量 (Niト)	31,600	32,000	32,000	1.3	0.0	
適用LME (\$/ト)	10,692	12,831	12,985	21.4	1.2	<b>■LMEニッケル価格</b> 世界的な貿易制限等の 影響があったものの、 前期比21.4%上昇
[適用LME (\$/lb)]	[ 4.85 ]	[ 5.82 ]	[ 5.89 ]			
適用為替 (¥/\$)	111.15	110.46	110.53	△0.6	0.1	

(2) 国別販売実績

(単位：Niトン)



## (3) 連結経常損益分析



---

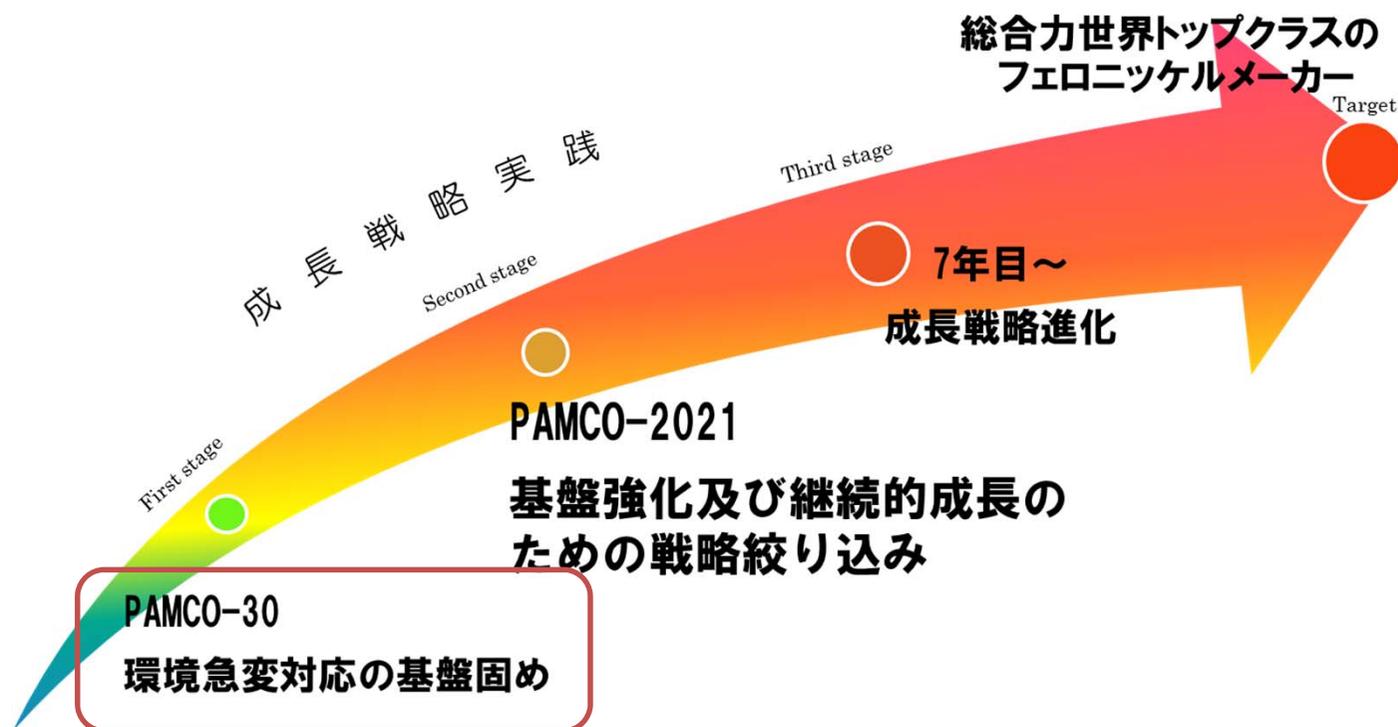
## 2. 前中期経営計画 「PAMCO-30」の振り返り

---



## 2. 前中期経営計画「PAMCO-30」の振り返り

### (1) 「PAMCO-30」の位置づけ



### 前中期経営計画「PAMCO-30」

(2016年5月10日公表、計画期間：2016年度～2018年度)

(期間中の事業環境の変化)

- 需給等ファンダメンタルズに因らないLMEニッケル価格の低迷
- インドネシア鉱石禁輸一部緩和
- 鉱石の低品位化
- 中国政府の環境規制によるステンレス生産上限圧力
- 電力コスト高止まり

### (2) 重点施策と活動結果

○：達成項目 △：対応中項目

<p>フェロニッケルの 生産・販売施策の強化</p>	<p>○ 市況低迷時における機動的な生産・販売基盤を構築 △ 生産基盤設備の更新</p>
<p>ニッケル資源調達の安定化</p>	<p>○ 一部既存サプライヤーとの長期契約及び資源調達の安定化に向けた取り組みが前進 △ 低品位化・鉍量減少対応（鉍山権益獲得含む）</p>
<p>収益性の強化</p>	<p>○ 合理化によるコスト削減（3ヵ年計26億円） ○ 一部不採算製品の生産販売終了 △ 海外事業の具体的絞り込みに着手</p>
<p>技術力・現場力の強化</p>	<p>○ 乾式製錬における石炭原単位低減等、技術力が向上 ○ 新人事制度の導入により人材強化基盤を構築</p>
<p>環境対策及び労働安全衛生 対策の強化</p>	<p>○ 水質汚濁に関する基準遵守 △ エネルギー原単位当たりのCO<sub>2</sub>排出量の削減 △ ゼロ災の達成</p>
<p>コンプライアンス、 ガバナンス体制の強化</p>	<p>○ 内部監査結果の共有化及びコーポレートガバナンス基本方針の見直し・改定により体制・基盤を強化</p>

## (3) 3ヵ年計画対実績比較 (連結)

(単位：金額 百万円)	2016年度～2018年度 (3ヵ年合計)			増減理由
	計 画	実 績	比 較	
適用LME (\$/lb)	5.43	5.07	△ 0.36	
適用為替 (¥/\$)	116.07	110.09	△ 5.98	
生産数量 (Niトン)	105,048	96,509	△ 8,539	鉱石の低品位化による生産数量減 LMEニッケル価格低迷による調整
販売数量 (Niトン)	105,000	96,700	△ 8,300	LMEニッケル価格低迷による調整
売上高	155,197	128,970	△ 26,226	販売量減、LMEニッケル価格低迷
営業利益	△ 5,051	△ 6,133	△ 1,082	LMEニッケル価格低迷による販売単価安
経常利益	2,335	2,733	398	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,096	△ 678	△ 1,774	契約損失引当金、減損損失等
投資額	5,629	805	△ 4,823	設備投資の先送り等
減価償却額	1,362	995	△ 366	

## 《First stage 総括》

一部の対応継続の課題は残るものの一定の基盤固めはできた

---

# 3. 新中期経営計画 「PAMCO-2021」

---



#### (1) 「PAMCO-2021」の位置づけ



#### 新中期経営計画「PAMCO-2021」

(2019年5月10日公表、計画期間：2019年度～2021年度)

- ①PAMCO-30で築いた基盤の更なる強化を押し進め、事業環境の急変にも対応できる筋肉質な企業を目指す
- ②企業として持続的成長を遂げるため、戦略の絞り込みを進める
- ③社会の持続可能性に配慮した企業への成長を目指す

#### (2) 当社を取り巻く環境

「PAMCO-2021」  
期間中に想定される事業環境  
(Risk)

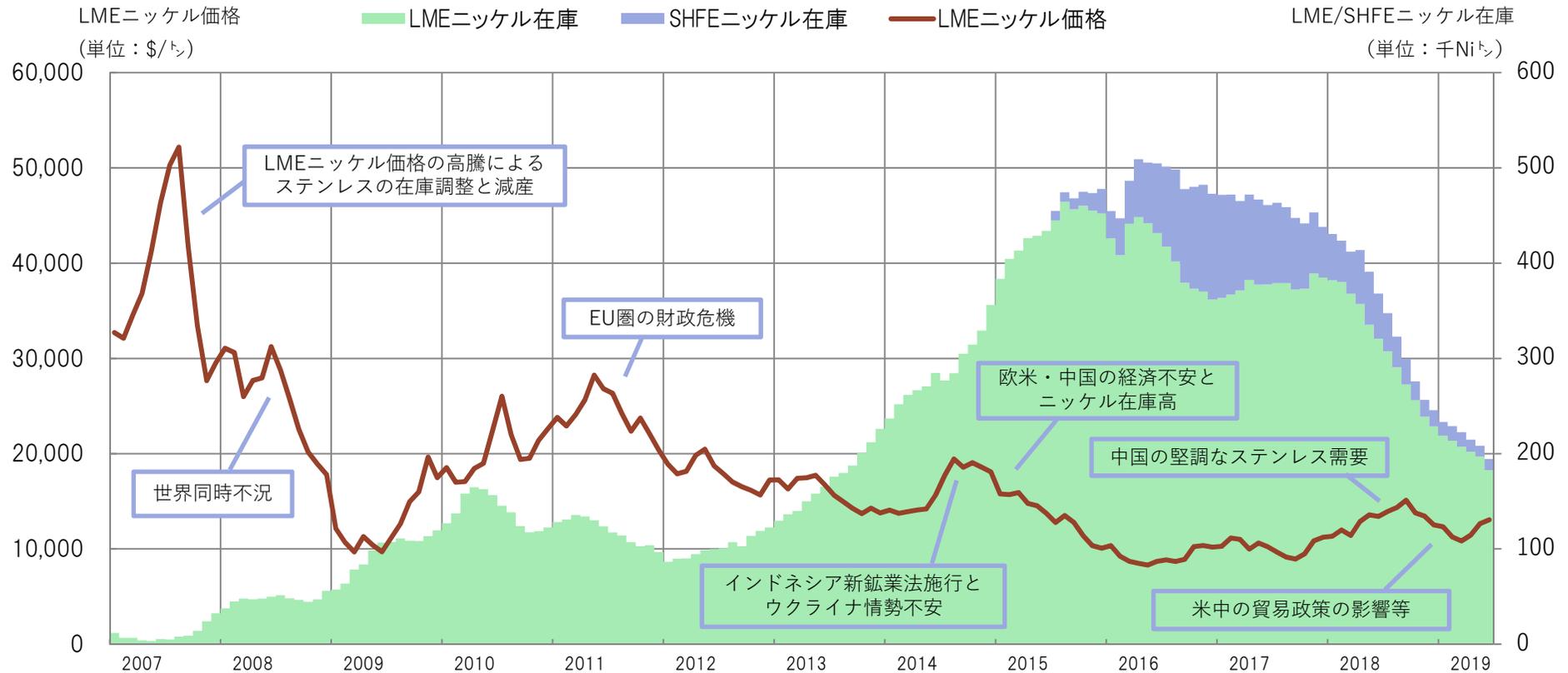
- グローバルリスクのコモディティ市場への影響拡大
- 資源ナショナリズムの拡大
- 電力環境の変化

「PAMCO-2021」  
期間中のOpportunity

- 堅調な伸びが見込まれるステンレス需要
- EV市場拡大に伴うバッテリー由来のニッケル需要増
- 足下のLMEニッケル在庫減少
- ニッケル供給不足の継続見込み

#### (3) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移

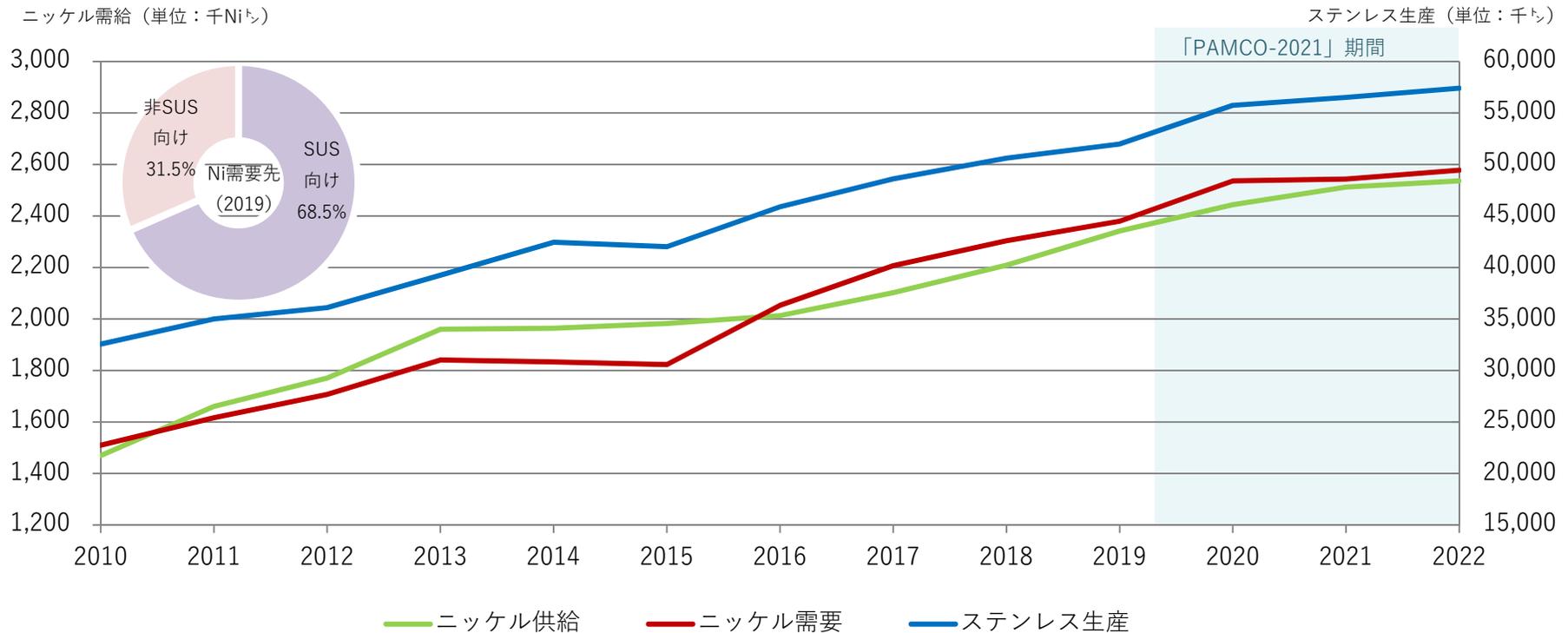
※当社調べ



業績の推移	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3
売上高 (百万円)	116,419	72,975	58,489	74,786	48,330	58,488	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210	49,062
営業利益 (百万円)	52,250	16,168	11,774	18,494	153	2,168	△4,079	△7,787	△15,357	△3,070	△3,239	176
経常利益 (百万円)	56,314	18,387	13,440	20,767	3,524	4,920	△1,838	△91	△12,283	△515	△203	3,451

#### (4) 前提となるステンレス生産・ニッケル需給見通し

※当社調べ



#### ステンレス生産

中国政府の環境規制による生産上限圧力が一部にはあるものの、インドネシアにおける生産体制の整備等が進んでおり、総じて緩やかな成長は継続する見込み。

#### ニッケル需給

<需要面>

成長が継続するステンレス生産に支えられ、また、EV関連のニッケル需要も増加しており、今後も堅調に推移する見込み。

<供給面>

インドネシア以外での新規大型投資案件は見られず、タイトな状況は継続する見通し。

#### (5) 基本方針と重点施策

経営基盤の強化  
並びに  
成長に向けた  
戦略の絞り込み

①最適生産体制構築のための「設備」の強化と「鉱石」の安定調達

②海外事業展開を視野に入れた取り組み  
～資源ナショナリズムへの対応と社会構造の変化を見据えた対応

◇フェロニッケルの最適生産・販売体制の構築

- ・海外製錬の展開を視野に入れた全体最適生産体制の構築及び経営基盤の更なる強化
- ・既存取引先への安定的販売強化、更には新規の顧客獲得

◇ニッケル資源調達の長期安定化

- ・既存契約更新をベースに、ソース拡大も視野に入れ長期安定調達
- ・資源権益取得、海外製錬等を視野に入れた取り組み

③国内事業の多角化（新規事業への取り組み）

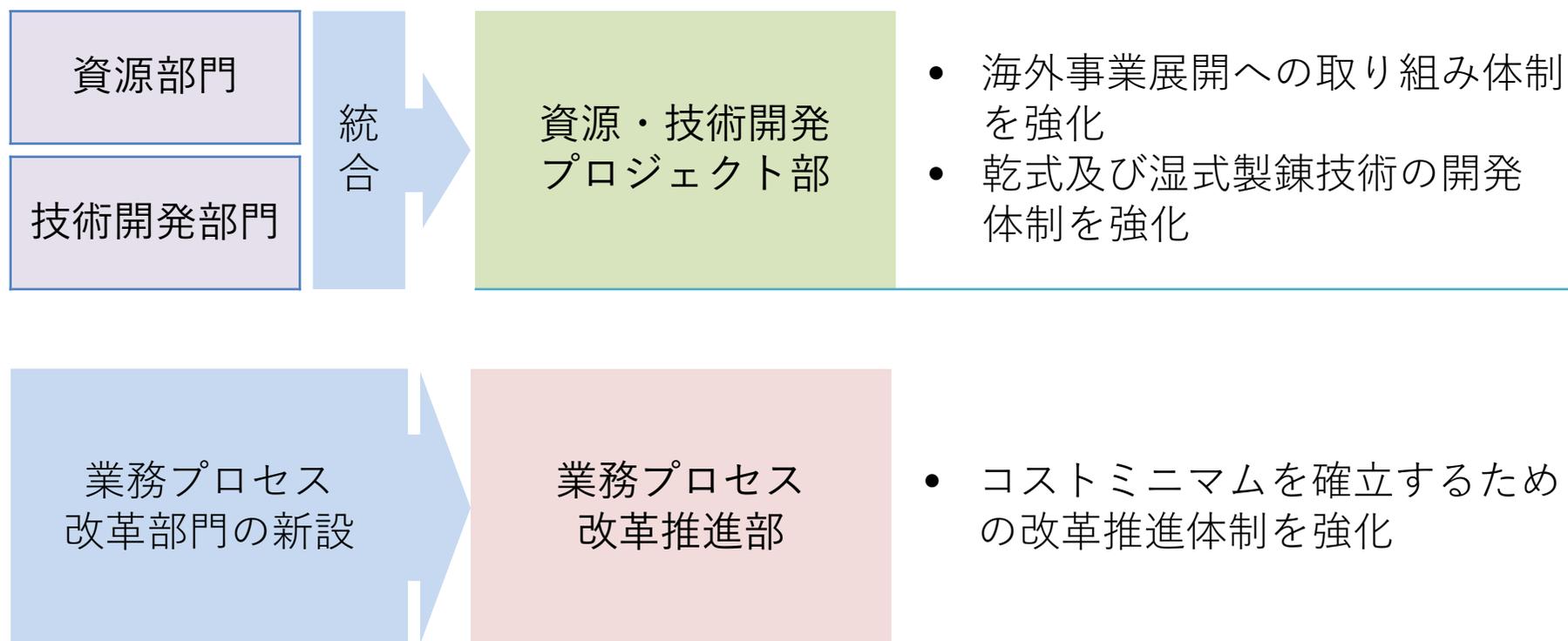
- ・収益変動の低減と将来の収益基盤強化に資する事業の多角化を目指す

#### (5) 基本方針と重点施策

経営基盤の強化 並びに 成長に向けた 戦略の絞り込み	<b>④収益力の強化</b>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コストダウンを推し進め、収益性の高い最適生産体制を追求</li></ul>
	<b>⑤事業環境の変化を見据えた「組織」と「人材」の強化</b>
社会的・経済的 価値の創出	<ul style="list-style-type: none"><li>・目標達成に向けた柔軟かつ最適な組織づくり</li><li>・スキル底上げによる人材の強化</li></ul>
	<b>⑥キャッシュ・フロー重視の経営</b>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・適正な資産状態を維持し、効率的なキャッシュ・フローを把握することにより、経営の安定化を高める</li></ul>
	<b>⑦持続可能な社会の実現への貢献</b>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地球温暖化防止対策の追求、地域並びに資源国発展への寄与</li><li>・従業員一丸となったゼロ災達成</li><li>・コンプライアンス、ガバナンス体制の強化</li></ul>

#### (6) 組織改編

明確化したPAMCO-2021基本方針の下、重点施策を実現するため組織改編を行い  
長期VISIONに掲げたテーマ達成に向け、取り組みを加速する



## (7) 年度別指標

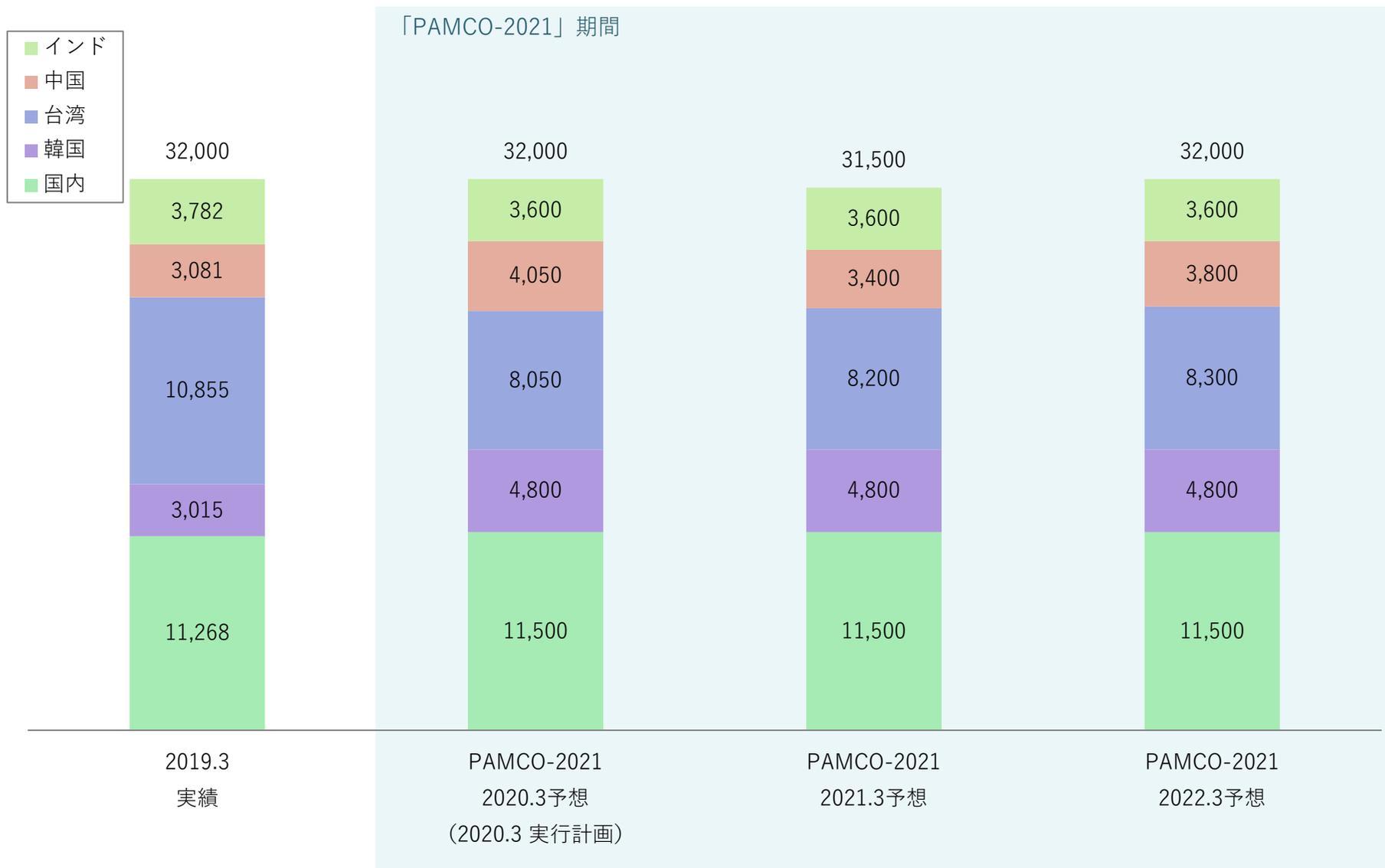
(単位：金額 百万円)	2019.3 実績	「PAMCO-2021」期間			
		2020.3 予想 (2020.3 実行計画)	2021.3 予想	2022.3 予想	3ヵ年計
生産数量 (Niトン)	33,506	33,000	29,000	32,500	94,500
販売数量 (Niトン)	32,000	32,000	31,500	32,000	95,500
適用LME (\$/トン)	12,985	13,691	14,330	14,837	14,286
[適用LME (\$/lb) ]	[ 5.89 ]	[ 6.21 ]	[ 6.50 ]	[ 6.73 ]	[ 6.48 ]
適用為替 (¥/\$)	110.53	109.72	109.73	109.72	109.72
売上高	49,062	50,816	51,872	55,097	157,785
営業利益	176	391	△271	2,650	2,770
経常利益	3,451	3,136	2,377	5,340	10,853
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,693	2,872	2,020	4,876	9,768
投資額	276	1,887	4,688	4,132	10,707
減価償却費	307	330	408	515	1,253
総資産	71,933	70,587	70,500	71,562	—
純資産	64,439	62,036	61,150	62,881	—

## トピックス

- 2021.3月期にF6電気炉の一部設備（トランス）更新予定のため、生産数量減少見込み
- 「PAMCO-2021」期間中は、エネルギーコストの上昇を見込む

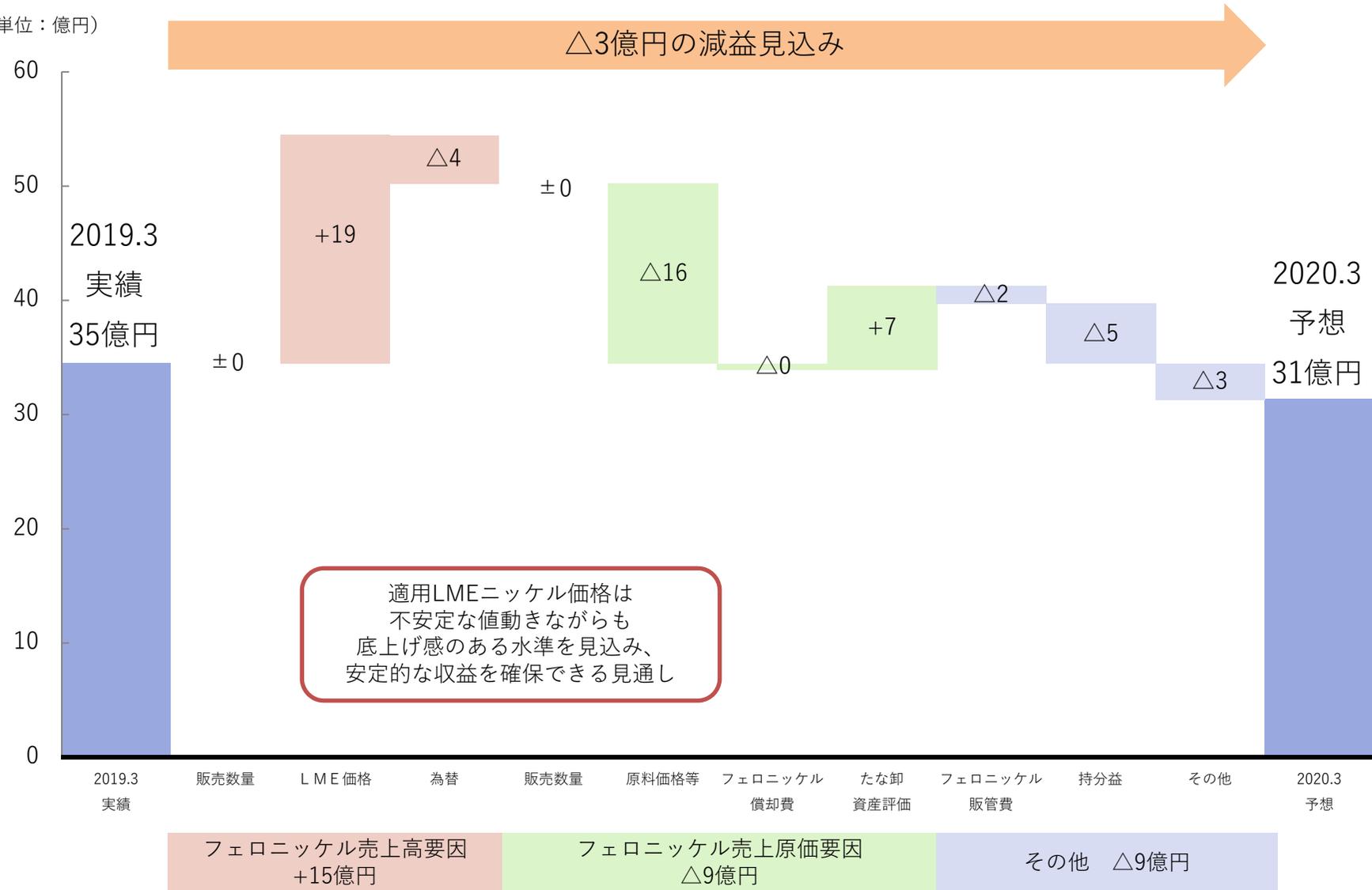
#### (8) 国別販売見通し

(単位：Niトン)



#### (9) 連結経常損益分析 ①2019.3実績と2020.3予想の比較

(単位：億円)



#### (10) 投資計画（工事ベース）

(単位：百万円)	PAMCO-30実績 (3ヵ年計)	「PAMCO-2021」期間			
		PAMCO-2021 2020.3 予想 (2020.3 実行計画)	PAMCO-2021 2021.3 予想	PAMCO-2021 2022.3 予想	3ヵ年計
①設備維持更新・合理化	804	821	1,377	1,018	3,216
②海外投資関連	0	1,066	3,311	3,114	7,491
合 計	805	1,887	4,688	4,132	10,707

#### ①設備維持更新・合理化投資

- 環境急変により前中期経営計画期間内に未実施であった設備の維持更新及び合理化投資等

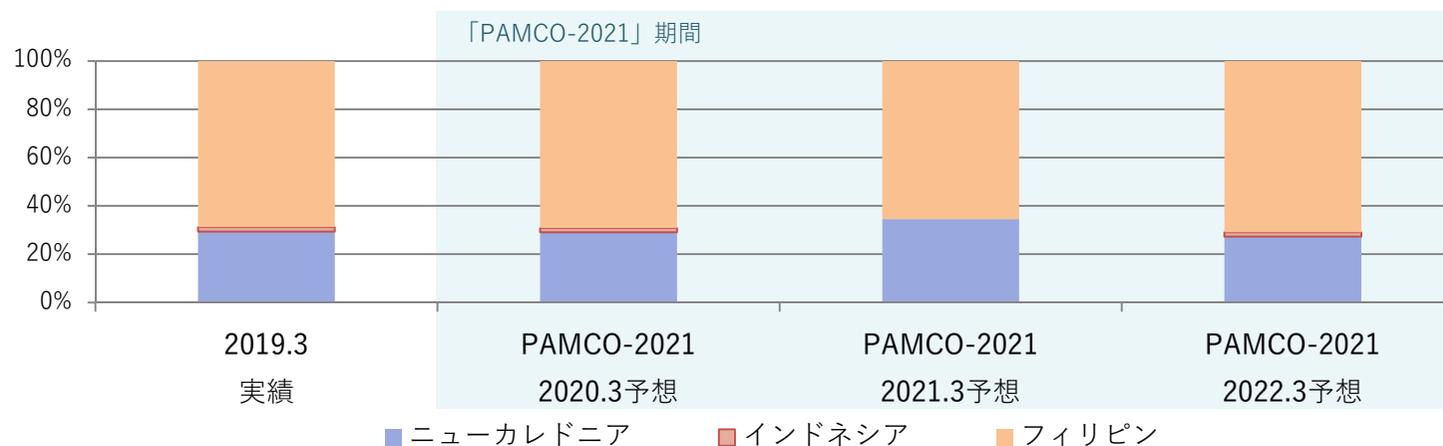
#### ②海外投資関連

- フィリピン、ニューカレドニア他におけるニッケル鉱区調査
- 既存鉱山等の権益取得に係る関連費用
- 新興国の新規プロジェクト参入へ向けた費用

### 3. 新中期経営計画「PAMCO-2021」

#### (11) 鉱石調達計画（長期契約・調達割合）

購入先（長期契約）	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3
<フィリピン> リオ・チバ・ニッケル社（36%出資）	契約期間：2016.1～2020.12（5年間）			(次期契約締結予定)	
<フィリピン> タガニート社（33.5%出資）	契約期間：2016.1～2020.12（5年間）			(次期契約締結予定)	
<フィリピン> カグジャナオ社	契約期間：2016.1～2020.12（5年間）			(次期契約締結予定)	
<ニューカレドニア> MKM社（1）	契約期間：2014.1～2023.12（10年間）				
<ニューカレドニア> MKM社（2）	契約期間：2016.1～2025.12（10年間）				
<ニューカレドニア> モンタニア社	契約期間：2016.4～2026.3（10年間）				



#### (12) 資本政策

##### ①利益配当金

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、企業体質の充実・強化を図りつつ、連結配当性向30%を目処に実施

##### ②内部留保金

経営環境の変化に機能的に対応するための基金とするとともに、資源確保、新技術の開発、設備投資、資本政策の一環として自己株式取得、等々に活用

#### (13) ESGへの取り組み

##### 環境 Environment

- フェロニッケルスラグの全量リサイクル化による循環型社会への貢献
- ニッケル鉱山における植林活動の推進
- 省エネ設備への改良及び高温排ガス再利用による省エネルギー対策の推進
- 排水終末処理による水質汚濁防止対策と排水の再利用



##### 社会 Social

- 東日本大震災被災地へのフェロニッケルスラグ土木資材の供給
- 地元サッカークラブチームへの協賛、地域活性化活動への参加による地域社会との共生
- 工場周辺や地域の清掃活動の実施



##### ガバナンス Governance

- コーポレート・ガバナンスの充実・強化
- 統合マネジメントシステム（IMS）の活用による法規制遵守



すべてのステークホルダーの信頼に応えるため、事業活動を通じて社会・地域の課題解決に貢献しながら、新たな価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指す



「PAMCO-30」期間 実績値	(単位：金額 百万円)	2017.3実績	2018.3実績	2019.3実績
	生産数量 (Niトン)	33,101	29,902	33,506
	販売数量 (Niトン)	33,100	31,600	32,000
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	9,877[ 4.48 ]	10,692[ 4.85 ]	12,985[ 5.89 ]
	適用為替 (¥/\$)	108.64	111.15	110.53
	売上高	38,697	41,210	49,062
	営業利益	△3,070	△3,239	176
	経常利益	△515	△203	3,451
	親会社株主に帰属する当期純利益	△3,561	△810	3,693
	投資額	269	259	276
	減価償却費	376	312	307

「PAMCO-2021」期間 予想値	(単位：金額 百万円)	2020.3予想	2021.3予想	2022.3予想
	生産数量 (Niトン)	33,000	29,000	32,500
	販売数量 (Niトン)	32,000	31,500	32,000
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,691[ 6.21 ]	14,330[ 6.50 ]	14,837[ 6.73 ]
	適用為替 (¥/\$)	109.72	109.73	109.72
	売上高	50,816	51,872	55,097
	営業利益	391	△271	2,650
	経常利益	3,136	2,377	5,340
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,872	2,020	4,876
	投資額	1,887	4,688	4,132
	減価償却費	330	408	515



# 大平洋金属株式会社



---

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

---